

《報道関係資料》

(配布先) 農政記者クラブ／東商記者クラブ／環境省記者クラブ

2024年11月7日

日清オイリオグループ株式会社

## 海外子会社 Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd. が バイオガスの調達に向け Gas Malaysia の子会社と契約 ～2050年のカーボンニュートラル実現に向けてグループ全体で脱炭素化を推進～

日清オイリオグループ株式会社(社長:久野 貴久)は、2050年の「カーボンニュートラル(CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ)」実現に向けて、2030年のScope1、2のCO<sub>2</sub>排出量50%削減(2016年度比)を目標とし、グループ全体で脱炭素化に向けた施策を実施しています。

その一環として、マレーシアにある子会社 Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd.(以下、ISF)が、再生可能エネルギーの一種であるバイオガスの供給を受けるための契約を Gas Malaysia Bhd.の子会社である Gas Malaysia Energy and Services(以下、GMES)と結びました。



契約書を交わす ISF CEO の藤森(右から2番目)と、GMES CEO の Mohamad Farid Ghazali 氏(左から2番目)

今回供給を受けるバイオガスは、国際持続可能性カーボン認証(ISCC)PLUSの認証を受けたものとなります。パームを搾油する工程の廃水から回収されたメタンガスを天然ガスの代わりに利用する仕組みで、CO<sub>2</sub>排出量削減に寄与することが期待されます。ISFではこれまで、工場への太陽光パネルの設置やグリーン電力の購入など、主に電力におけるCO<sub>2</sub>排出量削減のための施策を積み重ねてきましたが、本取り組みは、もう一つの主要なエネルギーである天然ガスの燃焼によるCO<sub>2</sub>排出量削減に資する初めての取り組みとなります。また、GMESにとっても、自社の天然ガス供給システムを通して認証バイオメタンを提供する初の事例となります。

さらに、当社グループのサプライチェーン上流に位置するパーム搾油工程から排出されるメタンをエネルギーとして活用することで、当社グループのScope1 CO<sub>2</sub>排出量削減のみならず、パーム油サプライチェーン上のGHG排出量削減(Scope3)にも貢献することが見込まれます。

今後もグループ一体となり、脱炭素化の取り組みを進め、地球温暖化の防止に貢献していきます。

リリースに関するお問合せ先: 日清オイリオグループ株式会社 広報部

TEL:03-3206-5109 〒104-8285 東京都中央区新川一丁目23番1号